

2016年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	建築・デザイン学科							
科目名	都市計画							
科目区分	専門科目	単位数	2単位	開講時期	3年次後期			
必修・選択の別	必修科目(建築工学コース)／選択必修科目(建築コース)／選択科目(デザインコース)							
担当者	益田 信也							
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の都市計画の役割、骨格、基本的内容を理解できる。(A5,B5) ・建築、道路、緑地について存在の意味と都市計画の対象としての課題を理解できる。(B5) ・近隣、地区、都市のそれぞれのレベルでの約束(法)や事業の意義を理解できる。(A5,B5) ・都市調査によって課題を整理し、その結果を表現する能力を身につける。(B5) ・市街地の整備計画を立案し、図面上に計画を表現する能力を身につける。(B5) 							
日程と内容	<p>09/16 第1回：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価の方法</p> <p>09/23 第2回：都市の成り立ちと現況(まち歩きとレポート①)</p> <p>09/30 第3回：都市計画の思想と歴史</p> <p>10/07 第4回：都市問題と都市計画の課題</p> <p>10/21 第5回：日本の都市計画の体系：法定(行政)都市計画の体系と基本的内容</p> <p>10/21 第6回：都市計画のプロセスと都市調査</p> <p>10/28 第7回：土地利用と都市計画規制：地域地区・用途地域</p> <p>11/04 第8回：都市交通と道路：都市交通の課題、道路の種類と機能</p> <p>11/11 第9回：公園・緑地：オープンスペースの役割、種別と系統(街区公園の提案レポート②)</p> <p>11/18 第10回：公園・住宅地の調査(開発時期の異なる住宅地・街区公園の見学とレポート③)</p> <p>11/25 第11回：住宅地の計画：敷地計画と住宅路、近隣住区論</p> <p>12/02 第12回：中心市街地の計画：都心と郊外、中心商店街の再生、街なか居住、コンパクトシティ</p> <p>12/09 第13回：都市計画事業：都市施設の整備と市街地開発、土地区画整理事業</p> <p>12/10 第14回：都市景観：景観の概念、まちづくりと景観法</p> <p>12/16 第15回：これまでの授業の総括、総合演習と解説</p> <p>01/20 第16回：定期試験</p>							
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	30%	プレゼンテーション	0%	課題	0%		
	演習	0%	計	100%				
授業到達目標の達成度	定期試験の受験生の約9割が合格に至り、概ね目標は達成できたと考えている。また、合格者の平均点は74.3点(昨年68.0点)で昨年より向上した。							
反省点	改善できていなかった授業回(第9回ほか)の改善ができ、演習を組み込んだ授業を実現できた。昨年度試験問題の難易度を上げすぎたが、今年度は適当なレベルに設定できた。							
来年度の計画	好評であり教育効果も大きい学外演習を継続する。建築基準法・都市計画法の改正を踏まえた改訂を行う。							
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価は8.2点と、昨年度の8.4点からやや下がっている。特に評価の低い項目である「自学自習」については、レポートに追加して、調べものやノートの作成等をシラバスに明記して指導する。							
履修登録者数	47名	定期試験 受験者数	45名	合格者数	42名	合格率	93%	